

環境掲示板

環境活動事業助成金(二次募集)

非営利団体が行う環境活動事業に、その経費の一部が助成されます(上限10万円)

申請期間 8月29日まで

申請・問合せ 三鷹市環境対策課 内線 2523

木工教室・竹とんぼ作り

主催 三鷹市ごみ対策課

日時 7月20日(日)～8月31日(日)

の開館日(水、木、土、日)

対象 廃材を持参できる方 無料

場所・申込 三鷹市リサイクル市民工房
0422-34-3196

植物観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 8月3日(日) 13:00～14:30

集合 野川公園自然センター前

申込 直接会場へ 無料

問合せ 0422-31-9033

牛乳パックから小物入れ作り

日時 8月13日(水) 13:00～15:30

場所 三鷹市リサイクル市民工房

対象 小学生 低学年は保護者同伴

編集後記 「現場から書く」をモットー

にして、できるだけ現場に足を運び、参加して見て、書いています。本紙は、図書館、コミセン、市政窓口、協働センターなどで入手できます。市のHPの環境対策課の頁からも見ることができます。第1号をみて、「森のふくろう」の活動に参加してきた人がいました。大変うれしいことです。ささやかな活動ではありますが、先を目指して継続的改善に努めます。引き続き読んでください。(安達)

定員 8名(抽選) 無料

申込・問合せ ごみ対策課 内線 2535

小さな昆虫教室

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 8月17日(日) 13:00～15:00

集合 野川公園自然センター前

申込 直接会場へ 無料

問合せ 0422-31-9033

第38回井の頭かんさつ会

主催 井の頭かんさつ会

テーマ 夜の生き物観察

日時 8月23日(土) 18:30～20:30

集合 場所は現在未定です。

事前に申込みが必要 費用300円

申込み 大原 kapock@parkcity.ne.jp

HP URL <http://www.kansatsukai.net>

生ごみリサイクル交流会2008

「生ごみは宝だ！」

日時 8月26日(火) 9:50～16:50

場所 早稲田大学国際会議場

(東西線早稲田駅下車出口3b)

主催 NPO 法人有機農産物普及・堆肥化推進

協会 参加費 3500円 学生・会員 2500円

問合せ 03-5410-3735

HP URL <http://www.taihika-kyokai.or.jp>

森のふくろう

(北野中央公園の剪定などの樹木の管理)

8月の定例活動は休みです。問合せは大徳

daitokufamily@h4.dion.ne.jp

発行：みたか環境活動推進会議

連絡先：三鷹市環境対策課

電話 0422-45-1151 内線 2523・2524

E-mail: kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

みたか環境ひろば

第3号

2008年8月1日発行

井の頭恩賜公園池の生態系に異変

外来魚ブルーギル・ブラックバスがはびこる

井の頭池は、江戸時代には、豊かな湧水が湧き出て、そこから神田上水を経て江戸に暮す人々の命の水を供給していた。この武蔵野の地にも長い時間を経て、人口が増え、近年には都市化が進んで、湧水の減少がすすんでしまった。

むかし湧水が豊かにでていたお茶の水の湧き水も、今は地下水が代わりにしている。かつて湧き出ていた豊かな湧水の量にはとてもとても及ばない。

現在の井の頭池は、にごった池となり、時にはアオコが発生する。池の生態系にも異変が生じている。いつ誰が池に外来魚を持ち込んだのかはさだかではないが、現在の池には外来魚のブルーギルやブラックバスがはびこっている。在来種のモツゴなどの数は減少した。

井の頭かんさつ会では、昨年からは熱心に外来魚の捕獲調査を行っています。その結果によると、捕獲されたものの約97%は外来魚(ブルーギル、ブラックバス)であり、在来種(モツゴ、スジエビなど)は3%弱であった。いまやカイツブリにとっても、子育てに適さない池となってしまっているようです。



井の頭池で調査中の田中利秋さん



井の頭池で捕獲されたブルーギル

例えば池の水がきれいになっても、そこにいるのが外来魚やミシシippアカミミガメばかりでは「井の頭池の復活」とはいえないと思います。(安達)



夕焼け橋付近で水生生物の観察

井の頭かんさつ会

「生き物たちの神田川」

井の頭かんさつ会は、平成17年4月に第1回「カイツブリ観察会」を実施して以来、毎月1回井の頭公園付近で、季節の旬の素材をテーマにして自然観察会を開催しているグループです。

6月28日(土)午前10時、第36回井の頭かんさつ会「生き物たちの神田川」には、小学生7名を含む参加者33名とスタッフ8名が参加しました。午前10時、井の頭公園駅前に集合し、観察会が始まりました。井の頭公園のひょうたん池近くの水門橋から丸山橋まで、神田川の植物や生き物を観察しながらゆっくりとくたびりました。マコモ、ヒメガマ、ミクリ、クサヨシ、セリなどの植物を丁寧に教えていただきました。

あしはら橋の上流では、オシドリの子がいました。幼鳥の6羽の体は親と同

じぐらいの大きさになっていましたが、まだ親と一緒にでした。丸山橋上流で、イシガメとミシシippアカミミガメがいました。

最後は夕焼け橋付近で、希望者7名とスタッフ4名が川に入り水生生物を採取しました。大人も子供も嬉々として、生き物を探し求めていました。アメリカザリガニ、アメンボ、カワニナ、シジミ貝、モノアライガイ、ガガンボの幼虫、ドジョウなどが確認できました。参加した小学生は「楽しかった!」と感想をもらっていました。

北野中央公園の緑の保全に「森のふくろう」が活躍

緑のボランティア講座の修了生たちは「森のふくろう」というグループを作って月に2回(第2、第4土曜日)北野中央公園で、公園の樹木の管理に活躍しています。現在登録者は18名、訪問した7月12日(土)は9名の参加者でした。北野中央公園にはヒメリンゴ、カキ、ビワ、ナシ、ザクロなど実のなる木が多くあります。暑い日でも、楽しい作業でした。



平成二十年度「環境標語」表彰 十二名が受賞

六月二十一日環境標語表彰式が行われました。標語に込められた思いをヒントに、生活を見直して行きたいものです。

市長賞

もったいない! その一言が地球を救う

渡辺峻弘

環境基金活用委員会会長賞

忘れない 自然の一部 ぼくたちも

宮原峻人

優等賞

捨てる前に考える その一瞬がエコロジー
見つけよう ないてるまきゆつにできること
行ってきます 火の元とじまりエコバック
小さな分別 地球にとっては大きな分別
ぼくの部屋 冷やせば外が 暑くなる
はじめよう できることから マイバック
やねのうえ おひさまの力 エコになる
温暖化 歩けばなくなる メタボもね
ちよつとECO みんながやれば すこいECO
地球は 高温でてるよ なおそつよ!
使わない 電気を消して エコマナー
ポイ捨ては いつかあなたに ぶつてくる

山本千笑
神沢皇稀
仲田こずえ
馬場優和
佐々木現斗
神宮由季
安達裕子
高市智史
天野花菜
添野友梨奈香
土井美来
平柳雄一郎

花壇ボランティア講座

6月18日(水)より、八原ダリ先生を講師に迎え、緑と公園課主催の花壇ボランティア講座が始まった。受講生は36名(男性4名、女性32名) ほぼ月1回の頻度で、講座は来年3月までに9回開催される。緑と公園課の小泉担当課長の説明では、「まち角に花壇を増やして行きたい。花壇の手入れが重要で、市民の参加が欠かせない」とのことです。この講座では、実際に中央図書館本館で、花壇を作りかえ、花壇のプラン、土作り、植え付け、メンテナンスのすべてを学ぶ予定です。八原ダリ先生は「笑顔で始まって、笑顔で終わりたい」とおっ



中央図書館本館前で説明を聞く受講生

しゃる。講座は1時間の講義と、1時間半の実習から構成されている。第1回の講座では、早速、園芸の基礎知識、花壇でサインの基礎知識などの講義と、播種苗のポット上げを実習した。さらに、中央図書館本館の実習花壇を見学した。